

特集 短大生に聞いてみよう

～若者の視点からのまちづくりについて～



——短大部を選んだ理由は。

- 國學院大學への編入学を目指して勉強するうえで、都会と比べて遊びに行く所が少なく、勉強に熱が入る環境だったからです。
- 地方や田舎への憧れに加え、勉強に集中できる環境だったのでこの大学を選びました。
- 数少ない書道を教えてくれる先生のもとで指導を受け、書道の教員免許を取得したくて進学しました。

——滝川の印象は。

- 空が広く、自然を肌で感じる事ができていいところだと思います。ただ、全国展開されているようなお店が少なく、不満に思う若者もいると思います。
- 生活するうえで必要な施設が十分に整っていて住みやすく感じます。地域の人が優しく接してくれるので、人のぬくもりを感じます。
- グライダーやコスモス、菜の花やジンギスカンなどが有名な街というイメージです。足元の悪い冬場の移動は大変ですが、市内線のバスが1時間に1便運行していて、スーパーなども程よくあるので、高齢者の方もしっかり生活できるところだと思います。



——滝川の良いところ、悪いところは。

- 自然が身近にあるので気分転換したいときは、散歩などでリフレッシュしています。でも、駅前が少し閑散としているのが気になります。
- 札幌や旭川など他の街へのアクセスが良いと感じる一方、市内の交通の便が悪いように思います。
- まちづくりゼミの活動を通じて知り合った地元の方と

のコミュニケーションや江部乙駅からの風景がいいなと感じます。若者向けのお店が少ないので、学生へアンケートをするなど、若い人の意見を聞いてみると何かのヒントになるのではないのでしょうか。

- 滑空するグライダーからお菓子をまいたりするサマースカイフェスタや、菜の花まつりなど滝川の特徴を活かしたイベントが多くあるのが良いところです。冬の除雪回数をもっと増やしてもらえると安心して生活できるようになると思います。

——滝川の自然を楽しむためには。

- 丸加高原は、夜空を撮影する上で余計な明かりがないなど条件がそろっているのですが、トイレなどの公共施設を充実させれば利用する人が増えるのではないのでしょうか。
- 菜の花畑などへのアクセス環境を充実させれば、若者が行ってSNSに投稿することでPRにつながると思います。
- 市内には畑がたくさんあるので、収穫体験や稲刈り体験ができると、滝川の自然を生かしたPRにもなっていると思います。

——丸加高原を活性化させるには。

- クラフトビール工場をふれ愛の里から移転するとおもしろいと思います。
- バーベキュー施設を充実させて、非日常感を味わえるような場所にする事で、若者に人気のスポットになるのではないのでしょうか。



今回の特集は、國學院大學北海道短期大学部（以下「短大部」）の学生5人にお集まりいただき、若者から見た滝川のまちづくりについてお話を伺いました。

滝川市で生まれ育った方や道内、道外出身の皆さんから見た滝川の魅力とは。



——滝川の宝は。

- 隣の家の人から野菜をもらうなど、以前住んでいた関東にはなかった貴重な体験をすることができ、幅広い世代との交流ができることは宝だと感じました。
- スーパーでジギスカンが売っていて、手軽に食べることができるのは宝だと思います。
- アットホームな方が多いところですよ。市内には地域に根付いたお店が多く、お客さん一人ひとりとの関係性を重視する店主の方が多いように思います。
- 広い星空を見ることができるのは、他の地域にはない宝だと思います。



——滝川に望むことは。

- 菜の花やコスモス畑など、フォトスポットの近くに駐車場や景色を眺めながらお茶を飲むことができるカフェがあると観光客にとってもいいと思います。
- ミーティングや会議をする場所が少ないので、自由に使える空間があったら若者だけでなく、テレワークをする方も利用できていいと思います。また、映画館やボーリング場などの娯楽施設や、幼稚園などの教育施設を充実させてほしいと思います。
- カフェやチェーン店などが入った大型スーパーがあるといいと思います。新たな雇用も生み出せるし、幅広い年齢層からニーズがあり、集客力が高いことで公共交通機関の充実などに期待が持てます。
- 駅に人が集まることで、市内の色々な場所も回ってみたいとなるので、駅前から市内への通りをにぎやかにすると思います。

——ちょうどいい田舎とは。

- 子育ての環境が整っていることではないでしょうか。子育てに手厚いサポートがあるから定住したり、大人と子どもの関わる機会が多くなったり、サポートが手厚くない地域からの人口流入などが考えられます。
- 子ども食堂に力を入れる必要があると思います。子ども食堂を活性化させ、高齢者と子どもの関わりを増やすことで、ぬくもりのある地域としてよりPRできると思います。
- 住宅街と自然の調和がとれていることが、ちょうどいい田舎を目指すうえで大切なことだと思います。

——将来こんな滝川に。

- 商店街がシャッター通りではなく、にぎわうようになっていけばいいなと思います。
- ゼミの活動で江部乙を中心に地域活性化に携わっているのだから、協力してくれるコミュニティが残っていてほしいです。
- 地元のお店が残っていたらいいと思います。
- 教育の面から、短大部と小・中・高校との学校間のつながりがもっと増えていたらいいと思います。



——学生からの提案。

- 丸加高原の自然を生かした、スノーラフティングなど体験型の企画をするのはいかがでしょうか。
- 地域活性化活動をする人と市の両方の意見が大事なので、今後もこのような交流会を開催して、一緒になって滝川を盛り上げていきたいと考えています。

意見交換会を終えて

今回の意見交換会を開催するにあたり、ご協力いただいた短大部の皆様に感謝申し上げます。

地元に住んでいてもなかなか気がつかない視点の意見も数多くあり、滝川のことを真剣に熱く語る学生さんたちの目はキラキラと輝き、定期開催の希望もいただきました。

私たちも熱意を持って実行力を磨き、議員活動を継続してまいります。

短大生の皆さん、ありがとうございました。